

【活動の主題】 児童会マスコットキャラクターと地域で守る交通安全プロジェクト

【学校名】 野洲市立篠原小学校

1 本校の概要

本校は、野洲市東部の大篠原地区に位置し、豊かな田園風景に囲まれた自然環境の中にある。明治32年創立の歴史ある学校で、国宝の神社や伝統の陶芸、糯米づくり（篠原糯）など多くの歴史ある文化遺産も今に受けつがれている。それゆえ、地域住民とのつながりが深く、学校・家庭・地域が協働して子どもたちの成長を支える教育活動を推進している。全校児童159名の単級の学校である。「好きです、篠原」を合言葉に、篠原小学校に愛着をもち、子どもたちへの協力を惜しまない風土がある。

2 取り組んだ内容

（1）児童会発信「自分の命を守ろう！」

野洲市では、大きな交通事故があり、小学生が被害にあった事例がある。本校でも、「飛び出しが気になる」など、子どもが自ら気を付けることとドライバーへの意識づけなど課題があることが分かった。

そこで、昨年度末、児童会では、どうすれば交通安全マナーを高められるか話し合った結果、マスコットキャラクターを募集し、地域と協働でキャラクターを活用した安全看板を作成し、通学路や横断歩道付近に設置することを提案計画した。

今年度、地域の見守りボランティアの方々と連携し、安全マナー向上のためのマスコット柄の帽子、啓発のクリアファイルを制作し、子どもの安全見守りお礼状を配付するなど、児童会と地域の見守りボランティアと協働で作成して地域と学校が一体となり子どもたちを見守る体制を強化し、安全で安心な地域づくりの推進をすすめた。

（2）マスコットキャラクター「のびるん」誕生！

全校児童が一堂に会する「篠っ子集会」で、計画委員が「篠原小学校の公式マスコットキャラクター募集」を提案した。全校児童159名の様々な篠原小学校にちなんだキャラクター



の中から、児童、教職員が各学年の優秀賞を選び投票し

【篠原小学校公式マスコットキャラクター「のびるん」】

た。またその中で、最も得票数の多かったキャラクターを最優秀賞とし、篠原小学校の公式マスコットキャラクターとして活用していくこととなった。「みんながもちのように、いろいろな力がのびるようにしたい」という願いと「うしろのかなえ結びでみんなの願いが叶うようにしたい」という思いが込められている「のびるん」に決定した。その後の活用方法として、計画委員が「まずは、交通安全マナーを守ること、どう活用するか」を考えた。飛び出し坊やを作り、学校前の横断歩道に設置した。地域へは、見守りや啓発の帽子やファイルを制作した。交通ルールを守り、安全に登下校することを、下学年の児童や見守ってくださる保護者や地域の皆さんに呼びかけようとの思いからだ。



【飛び出し のびるん】

3 活動の成果

この活動で、児童が主体的に考え、どう活用していくかを、具体として動かしていく構図がみられる。こうして進めていく姿が、地域住民からも「応援したい」「できることはないか」など多くの反響が寄せられた。また、「交通ルールを守ろう」の啓発ファイルから、学校への地域からの関心度が高まり、地域住民が学校へ来やすくなるという効果が表れた。大掃除や運動会の手伝いに来てくださるなど子どもとかかわって、子どものことを知りたいという具体的な活動に参加人数が増加したことは、大きな反響だといえる。



【交通安全啓発ファイル】

「交通事故ゼロ」を共通の目標として掲げ、児童が自らの「命を守ること」を考え、地域住民が「応援」「協力」する支え合う循環型の構図ができた。子どもたちが大人になり、また子どもたちを支える側にまわり、循環していくことが、学校と地域がともにある学校づくりが継続して進められていく交通安全プロジェクトの成果だといえる。